

「地域づくり型生涯学習」講座コーディネート事業

「令和6年度 岐阜地区社会教育委員・公民館関係者等研修会」にて講話を実施



子どもの可能性を引き出す地域の教育力 ～大人や地域に期待されていること～

講 師 岐阜大学地域協学センター 助教 後藤 誠一 氏

日 時 令和6年11月14日(木) 13:00～16:00
場 所 不二羽島文化センター
対 象 岐阜地区 社会教育委員・公民館関係者 60名
内 容 ・地域の教育力とは
・体験活動の定義、分類、意義について
・生活、文化体験活動の事例について
・子どもの主体性を引き出す講座づくり

●参加者の感想

- ・子どもにとって体験活動がいかに大切かが理解できました。
- ・in→about→for→withで地域づくりをという視点と、マープルタウンの取組みがとても興味深く、印象に残りました。
- ・どんな活動も、まず大人が楽しむ。本当に大切だと思います。楽しければ、ボランティアやサポーターは自然と集まり、さらに良い活動となると感じました。

●主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- ・県内外の好事例を含め、大変学びが多かった。今回の講演で教えていただいたことを参考に、地区内各市町での地域づくりの実践を図っていきたい。